

みやまの風

令和8年8月27日(木)発行

園長 露木 美紅



寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

周りのことに興味関心をもつことから

みなさん、①は幼稚園のどこの写真かわかりますか？

1学期終業式に、ちこちゃんにも登場してもらい、簡単なクイズを出しました。幼稚園内の一角にポツンと生えていた草の写真です。砂利に覆われたある場所です。

初めに子どもたちに、「ここはどこでしょうか？」という質問をしました。ほとんどの子がキョトンとしていましたが、しばらくしてから、ある年長児が「あっわかった！園庭に行く所でしょ」と答えてくれました。大正解です！

ちこちゃんから「つまんねーやつだな」（言葉遣いが悪くてすみません・・・）と言われ大喜びでした。友達や先生からも思わず拍手がおこりました。

次に「どうしてこんな所に草が生えているのでしょうか？」と聞いてみました。

すると、ある年長児が「下に土があるんじゃない？」と小さな声で答えてくれました。今度も、ちこちゃんから「つまんねーやつだな」と言われ、にこにこ笑顔になりました。土が見えている写真②を見せる前に正解が出て、子どもたちの鋭い観察力、洞察力にとっても驚かされました。



子どもたちは毎日の生活の中で、身近な周囲の環境とふれあいながら、そこに限らない面白さや不思議さを見出し、心を動かされていきます。五感をいっぱい働かせながら、興味関心はさらに高まり、好奇心が生まれ、探求心が湧き出てきます。どうしてこうなっているんだろうと思いを巡らせ、思考力を働かせます。幼児期は、さまざまな刺激や経験により、脳の神経をつなぐシナプスという接続点が急速に増え、脳のネットワークが一番豊かになる時期だそうです。

私たちも感性を豊かにしながら、周りの事象に立ち止まり、子どもたちとともに、不思議発見をしていきたいと思います。

夏の思い出



夏休み3回目の預かり保育では、子どもたちと話し合った結果、お好み焼きとピザ、フルーチェを作ることにしました。ピザの具材には畑で収穫したばかりのピーマン、トマトも入ります。包丁でピーマンを半分に切る時は「先にこうやってつぶすといいよ」と友達が教えてくれます。キャベツが入ったビニール袋をはさみで切る時は、向きを変えて一番切りやすい所を探し、上を抑えると切りやすいことに自然に気づいていきます。材料を混ぜる時、一番にやりたい子が多いと「じゃあここを抑えてくれる？」と自分たちで解決しながら進めていきます。

寄幼稚園の子どもたちは、やりたいことを自分の力で最後までやり通すことができる時間と場がいつも保障されています。お楽しみ会でますをさばいた時やゼリー屋さんで売り買いをした時なども、保護者の方は子どもたちの思いをくみとりながら、できない所を支援してくださいました。



今後も寄幼稚園ならではの貴重な経験を重ねていけるよう、皆様のご協力よろしくをお願いいたします。

